



おかあさんの目

☆☆☆☆☆

作 あまん きみこ
絵 くらい けん
出版社 あかね書房

幼い日、母の瞳の中に映ったふしぎとは…。「うつくしいものに出会ったら、いっしょうけんめい見つめなさい。」メッセージと文と絵が調和して、豊かな詩情あふれる絵本です。



てぶくろ

☆☆☆☆☆

作 ウクライナ民話
訳 うちだ りさこ
絵 エウゲーニー・M・ラチョフ
出版社 福音館書店

雪の季節に読みたい絵本です。おじいさんが、雪原にてぶくろを片方落として行き、そこに森の動物たちが、次々に入りこんで…。共有する楽しさがユーモアに描かれています。



すきなことにがてなこと

☆☆☆☆☆

作 新井 洋行
絵 嶽 まいこ
出版社 くもん出版

だれにだって、好きなことや苦しいこと、得手不得手がある。それを受け入れ、助け合って生きることの大切さを素直な言葉で語る一冊。読み終わったら、肩の力が少し抜けて、世の中が少し明るく見えるかもしれない。



あいたくなっちゃったよ

☆☆☆☆☆

作 きむら ゆういち
絵 竹内 通雅
出版社 ポプラ社

父の日が近づくに必ず読み聞かせたくなる本です。ねずみ父子の絆やそれを感じ取るやまねこ父さんの優しさが心を温かくします。



よぶこどり

☆☆☆☆☆

作 浜田 廣介
絵 いもと ようこ
出版社 金の星社

畑に落ちた卵を見つけ、卵から孵ったヒナを「カッコウ」と名付ける。母親として一生懸命にヒナを育てるが、やがてちょっとしたカラスの一言に…。大人から子どもまでの奥深い物語です。



やさしいのがっこう なすびせんせいのおはなし

☆☆☆☆☆

作・絵 なかや みわ
出版社 白泉社

親子で楽しめる食育絵本のシリーズ最新作です。なすびせんせいがおいしい野菜になるために必要な水や光、土や温度のお話をしてくれるのできっとみんなもお野菜が大好きになるでしょう。



ともだちのなまえ

☆☆☆☆☆

作 内田 麟太郎
絵 はしもと みお
出版社 教育画劇

小さな島にひとりぼっちで住んでいるイグアナ。ある日、傷ついたカモメに出会って、初めて自らの孤独を知る。イグアナがカモメと再び出会える日は来るだろうか。その日の到来をひっそりと願わずにいらなくなる絵本。



ちやうちやう ちやうねん

☆☆☆☆☆

作 もり なつこ
絵 はしもと えつよ
出版社 文研出版

初めて異性への「好き」という気持ちに出会ったときのビックリポンの驚き。形にならないままだけど、ユーモラスでほわーと温まる、昔子どもだった人の心も満たしてくれるお話です。



ボタンちゃん

☆☆☆☆☆

作 小川 洋子
絵 岡田 千晶
出版社 PHP研究所

小さい頃には大切にされていた物や道具が思い出の箱にしまわれるまでの、切ないけれど心温まる物語です。物語にぴったりなノスタルジックな絵が素敵です。



ノラネコぐんだん おあそびブック

☆☆☆☆☆

作・絵 工藤 ノリコ
出版社 白泉社

大人気のノラネコぐんだんシリーズの初めてのワークブック。クイズや迷路もあり、初めて数字やひらがなに触れるお子さんから大人の方まで親子で楽しく遊べるワークブックです。



きみのことが だいすき

☆☆☆☆☆

作・絵 いぬい さえこ
出版社 パイ インターナショナル

子どもに掛けてあげたい優しい言葉や会話がたくさん詰まった本でした。また、ふわふわとした優しいタッチの絵に癒されました。親子でゆっくりした時間に読んでほしい本です。



スプーンちゃん

☆☆☆☆☆

作・絵 小西 英子
出版社 福音館書店

表情豊かなスプーンちゃんが、踊るように、歌うように色彩豊かな食べ物と共演するお話です。耳ごこちの良いリズムミカルな言葉たちが食べるって楽しいと表現してくれるみたいです。